

1

## 回遊劇場～ひらく・であう・めぐる～

開催日：平成30年10月6日(土)～11月25日(日)

開催場所：大分市中心市街地各所



## ●実施状況

大分市では、リーディング事業として「回遊劇場～ひらく・であう・めぐる～」を開催しました。これは、市内中心部及び中心市街地循環バス「大分きゃんバス」のルートエリアを美術館や劇場に見立てた回遊型のアート展であり、まちなかにあるパブリックな空間や日常空間にアートを挿入することで、これまで気づけなかった都市の風景を生き生きと魅力的に感じてもらうことを目的とするものです。

実施にあたっては、空き店舗やカフェなどに作品を展示する「CIAO's Cafe」、屋外に壁画やモザイクアートなどを設置する「ウォールアート」、市民を対象としたワークショップや障がいがある方の作品の展示を行う「市民参加アート」、野外彫刻やおおいたトイレナーレ2015の作品を紹介する「パブリックアート」の4つの手法で展開することとしました。

事業案内と情報発信の拠点として、「回遊Cafe#204」や「大分銀行赤レンガ館案内所」等のインフォメーションセンターを設置するとともに、ボランティアガイドによる作品の案内やガイドツアーを実施しました。また、回遊劇場を含めた市内で開催される全66事業の情報に加え、観

光情報、交通情報などを掲載した大分市公式ガイドブックを3万部作成・配布し、積極的に広報を行いました。

参加者からは「アート作品とともに、街の風景も楽しめた」「全く知らない大分市中心部に親しみを感じ、また訪問しようと思った」などの声が聞かれました。参加アーティストや障がい者施設アート作品展の関係者からも「参加機会をいただき嬉しかった」「異分野のアーティストとのコラボレーションではどのような化学反応を起こすか期待して取り組んだ」「作品を見てもらえる場ができ、やりがいがあった」などの肯定的な感想を数多くいただきました。

期間を通して、市内外から大変多くの方々に参加いただき、アートの魅力、まちの魅力との「出会い」を楽しんでいただく良い契機となるとともに、「ひらく・であう・めぐる」の3つの視点からアートとまちをつなぐ手法の有効性と可能性が示されたものと考えています。



～ひらく・であう・めぐる～

「回遊劇場」ロゴ



● 展示概要

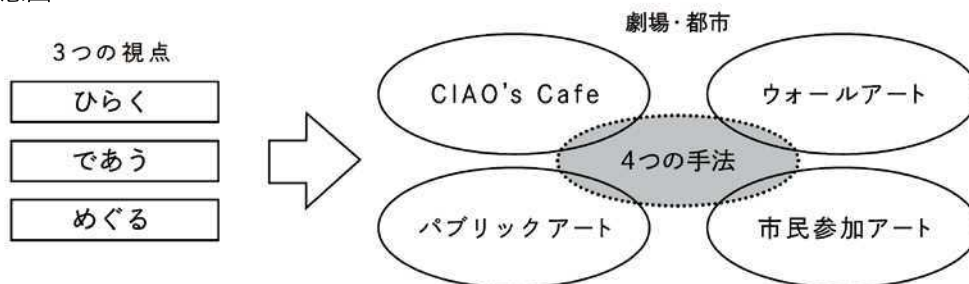
3つの視点

- (1) ひらく… ところをひらく、まちをひらく、文化をひらく
- (2) であう… 人とであう、まちとであう、異分野コラボ・伝統と現代
- (3) めぐる… 想像をめぐらす、まちをめぐる、アートをめぐる

4つの手法

- (1) CIAO's Cafe … 空き店舗を改装したスペースでの活動、カフェや既存店舗・ギャラリーでの展示
- (2) ウォールアート … 壁画、モザイクアート、バナーアート、バス停のグラフィック作品など
- (3) 市民参加アート … 障がいがある方の作品展示、ボランティアによるアートツアー、ワークショップなど
- (4) パブリックアート… 野外彫刻、おおいたトイレンナーレ2015作品、地下道アートなど

概念図



● 主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 大分市 大分市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭大分市実行委員会

# アニッシュ・カプーア IN 別府

## (特別連携事業)

開催日：平成30年10月6日(土)～11月25日(日)

開催場所：別府公園



### ●実施状況

別府市では毎年1組のアーティストを招聘し、別府の地域性を活かしたアートプロジェクトを展開しています。

今回は第33回国民文化祭・おおいた2018、第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会の特別連携事業として、世界的アーティストであるアニッシュ・カプーア氏が参加し、市中心部に位置する別府公園を会場に「アニッシュ・カプーア IN 別府」を開催しました。

氏の個展としては、国内最大規模となった今回のプロジェクトは、期間中、約5万5千人の方が訪れ、国内はもちろん、海外からも1千人を超える来場者がありました。

日本初公開となった「Sky Mirror」は、直径5mのステンレス製の彫刻が地上に空をもたらす、氏の代表作です。無料で鑑賞ができるとあって、日々多くの方が訪れました。作品の前で写真を撮ったり、周辺でくつろぐなど、皆思い思いに作品を楽しんでいました。

有料施設の「Void Pavilion V」や企画展「コンセプト・オブ・ハピネス」では、パビリオン形式で作品を展示しました。

世界初公開となった新作「Void Pavilion V」は、

その建物及び内部全てを作品と位置づけました。あらゆる光を吸収し、世界で最も黒いと言われる塗料が使用され、形の凹凸が分からなくなるなど不思議な知覚体験ができる作品でした。2つの入り口を設定することで作品の全体像が分かる仕組みであり、パビリオンを訪れた方は初めての体験に驚いていました。

「コンセプト・オブ・ハピネス」では、大地や人の内側から溢れてくるエネルギーを想像させるような作品群（絵画3点、彫刻5点）を展示するとともに、氏の人物像や作品を紹介した海外のドキュメンタリー番組を放映しました。

専門家はもちろん、氏を知らずに訪れた来場者にも「感動した」「作品に圧倒された」との声を多くいただきました。事業を実施することで、自由なものの方や考え方をもちたしてくるアートの力を皆さんに知ってもらうことができ、またより身近にアートを感じていただく機会となりました。

写真左上：「Sky Mirror」, 2018

左下・右上：「コンセプト・オブ・ハピネス\_アニッシュ・カプーアの崩壊概論」, 2018

ほか3点：「Void Pavilion V」, 2018

©Anish Kapoor Photo: Nobutada Omote

Courtesy of Mixed Bathing World Executive Committee



「アニッシュ・カプーア IN 別府」ロゴ

●関連イベント

1 in BEPPUをより深く楽しむための連続講座

『in BEPPU カレッジ』(全3回/参加費無料)

会場：フレックスB(別府市北浜1-2-12 別府ブルーバード会館地下)

(1) アニッシュ・カプーア IN 別府について

日時：8月31日(金) 19:00~20:00

講師：山出 淳也(総合プロデューサー)

参加者：49名

(2) 門を開ける—アニッシュ・カプーアの創造性

日時：9月1日(土) 14:00~16:00

講師：山口 洋三(福岡市美術館 学芸員)

参加者：25名

(3) 『コンセプト・オブ・ハピネス』キュレータートーク

日時：10月8日(月・祝) 14:00~16:00

講師：飯田 高誉(スクールデレック芸術社会学研究所 所長)

参加者：42名

2 作品鑑賞ツアー

(1) スタッフによる解説ツアー(全5回/参加費無料)

開催日：10月20日(土)、27日(土)、11月3日(土・祝)、10日(土)、17日(土)

参加者：計94名

(2) キッズガイドツアー(全1回/参加費無料)

開催日：11月18日(日)

参加者：計15名

(3) 総合プロデューサーツアー(全7回/参加費無料)

開催日：11月19日(月)、20日(火)、21日(水)、23日(金・祝)2回開催、24日(土)2回開催

参加者：計134名

●主催者

混浴温泉世界実行委員会(大分県 大分県東部振興局 別府市 公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団 公益社団法人ツーリズムおいた 一般社団法人別府市観光協会 別府市旅館ホテル組合連合会 別府商工会議所 別府商工会議所青年部 公益社団法人別府青年会議所 大分経済同友会 別府市商店街連合会 大分大学 大分県立芸術文化短期大学 別府大学 別府溝部学園短期大学 九州旅客鉄道株式会社 株式会社JTB 大分支店 大分合同新聞社 NPO 法人別府八湯トラスト NPO 法人ハットウ・オンパク NPO 法人鉄輪湯けむり倶楽部 NPO 法人BEPPU PROJECT)

# 3 ゆふいん音さんぽ♪

開催日：平成30年10月6日(土)～11月25日(日)

開催場所：湯布院地域



出会の場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

## ●実施状況

国内有数の保養地である湯布院は「湯布院音楽祭」に代表されるとおり、地域ぐるみで音楽を大切にす文化を育ててきました。今回の「ゆふいん音さんぽ♪」は、そのような湯布院の地域性を生かし、秋の自然豊かな町並みに流れるアットホームな「音」で、訪れる人をおもてなしするというコンセプトのもと開催しました。

本事業では蓄音機コンサートなど蓄音機を使用したイベントを数多く実施し、多くの方々に足を運んでいただきました。特に昭和7年に録音した名作義太夫のSPレコード盤を蓄音機で再生した「蓄音機文楽」は、昭和の大名人と平成の人形遣いの時代を超えた夢の共演に、多くの感動の声をいただきました。また、湯布院名物の辻馬車に蓄音機を乗せて演奏する企画も好評でした。

蓄音機を使用したイベント以外にも、県内21団体によるハーモニカ演奏会、日本を代表する和太鼓集団「豊の国ゆふいん源流太鼓」等による和太鼓公演、湯布院地域の神楽団体による神楽公演、フラウト・トラヴェルソ（バロック・フルート）の先駆者、有田正広氏らによるクラシック演奏会、ラジオDJのピーターバラカン氏による出前DJなど、「音」をテーマにしたイベントを数多く実施しました。

本事業を通じて多くの方々に湯布院の「音」という新たな魅力を知っていただきました。また、出演していただいた団体にとっても今後の芸能活動の更なる発展に繋がる大変貴重な機会となりました。

## ●プログラム

- 10月6日(土) 蓄音機コンサート「ジャズ・ソロの挑戦」
- 7日(日) 蓄音機コンサート「ジャズ・ダンス・パノラマ」
- 13日(土) ハーモニカ演奏会  
蓄音機コンサート「桑原茂一の奢侈の耳@湯布院」
- 14日(日) 神楽公演
- 16日(火) 蓄音機コンサート「元気の出る昭和歌謡」  
「戦後歌謡の黄金時代」
- 17日(水) デイナーショー「沖縄の食と音楽」
- 27日(土) 太鼓公演
- 28日(日) 蓄音機文楽「近頃河原達引」より「堀川猿廻しの段」
- 11月1日(木) 蓄音機コンサート「ぼくの心が震えた20世紀の名演奏家たち」
- 2日(金) クラシック演奏会「18世紀音楽への集い」
- 3日(土・祝) 蓄音機コンサート「小林秀雄と音楽-玉の湯で聴く その1」
- 4日(日) 蓄音機コンサート「小林秀雄と音楽-玉の湯で聴く その2」  
「ワークショップ-ろう管蓄音機への録音・再生」
- 10日(土) 「ピーター・バラカン出前DJ in 湯布院」
- 25日(日) 「ゆふいん蓄音機倶楽部Talk & Musicイベント-ブラジル音楽の魅力」

※期間中ゆふいん辻馬車の一部で蓄音機演奏を実施

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 由布市 由布市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭由布市実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭由布市実行委員会

4

## 開館20周年記念

たのむらちくでん  
田能村竹田展

開催日：平成30年9月28日(金)～11月11日(日)

開催場所：大分市美術館



## ●実施状況

平成10年に大分県で開催された「第13回国民文化祭・おおいた98」からほどなくしてオープンした大分市美術館の開館20周年を記念して、豊後岡藩出身の江戸時代を代表する南画家、田能村竹田の初期から晩年までの代表作を一堂に集めた展覧会を行いました。

20年を経て大きく成長した大分市美術館の田能村竹田のコレクションと、大分県立美術館、竹田市立歴史資料館等県内各地の所蔵作品を中心に、重要文化財29点を含む全101点にのぼる充実した展観を実現しました。大分県における2度目の文化祭にふさわしい、大分市美術館を拠点とした「オール大分」の様相で、郷土の文化を代表する田能村竹田芸術の精髓を、改めて県内外に紹介する展覧会となりました。

田能村竹田作品をモチーフにした巨大なバナーでコーナーを仕切るとともに、田能村竹田の繊細な絵画技法を至近距離で鑑賞できる展示ケースや細やかな作品解説の設置など、鑑賞の一助となる多くの試みを行いました。通常の展覧会とは異なる華やかな空間の演出は、多くの来場者から好評を得ました。

また、文化祭初日の10月6日には大分県立歴史

博物館学芸調査課長の古賀道夫氏による記念講演会を行うとともに、毎週水曜日には学芸員によるギャラリートークが行われ、多くの市民に参加いただきました。

展覧会図録には、大分市出身で世界的建築家の磯崎新氏にご寄稿いただくとともに、大分県、竹田市、そして大分市美術館それぞれの学芸員による論考を掲載し、南画愛好者、研究者からも評価される充実した内容となりました。

文化祭を通して、改めて田能村竹田の芸術のすばらしさに触れていただく機会となるとともに、郷土の誇るべき文化である「豊後南画」の展開に思いを馳せていただくきっかけとなりました。

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 大分市 大分市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭大分市実行委員会 大分市美術館

5

# 教育普及活動記録展示「びじゅつって、 すげえ！ 2014-2018」(芸術文化ゾーン連携事業)

開催日：平成30年9月28日(金)～11月25日(日)

開催場所：大分県立美術館



## ●実施状況

大分県立美術館の教育普及グループが、開館前の準備室時代(平成26年)から行ってきたアウトリーチ、ワークショップ、スクールプログラム、レクチャーなど、4年半にわたる活動の様子を、記録写真を中心に紹介しました。

テーマとしている「びじゅつって、すげえ！」は、大分県立美術教育普及グループが掲げたキャッチフレーズです。見る楽しさを知るためのきっかけや、作品との出会いをつくるための様々な活動を美術館及び県内各地域で行ってきました。人は何か新しい発見をした時に思わず「すげえ！」と口に出してしまうことがあります。身近なところからの「すげえ！」という発見は、好奇心を触発し、美術への関わりがダイナミックになったり、作品を能動的に見るきっかけとなったりします。展示では、わくわくする体験から生まれる笑顔、色や形を真剣にみる子どものまなざし、気になる作品の前で佇む姿などを、多くの方に見ていただきました。

「びじゅつって、すげえ！」を点から面へと広げるため、教育委員会と連携して行っているのが「学校連携プログラム」です。個人で美術館を利用するのも楽しいのですが、学校の友達や先生と一緒に

に作品を視るのも、別の楽しさがあります。そこで、小学生の美術館体験(小学4年生ミュージアムツアー)、地域の文化施設での所蔵作品展に子どもたちを招待する「中学生美術館体験講座」「子ども美術館」なども行ってきました。また、採用2年目の小学校教諭を対象とした研修等の様子も紹介し、先生方の作品に向かう姿勢、真剣なまなざしも見ていただきました。

実施日数は59日。多くの学校、一般来館者が立ち寄り、総観覧者数は25,871名。観覧者は、美術や美術館への関心を深めました。

## ●主催者

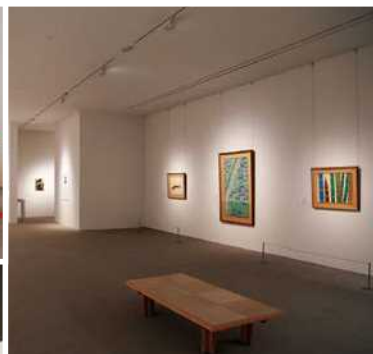
公益財団法人大分県芸術文化スポーツ振興財団(大分県立美術館)

6

# 日本モダンの精華 京都国立近代美術館 コレクション（芸術文化ゾーン連携事業）

開催日：平成30年9月28日（金）～10月21日（日）

開催場所：大分県立美術館



## ●実施状況

1200年以上にわたる歴史を通してわが国の文化の中心として発展してきた京都。この地では伝統と革新が溶け合いながら洗練された美術が生まれ、現代に至るまで、傑出した美術家を多数輩出してきました。本展覧会は、京都国立近代美術館の全面的なご協力のもと、同館のコレクションより、京都ゆかりの作家を中心に、日本画、洋画、工芸の選りすぐりの名品58点を展示。近代日本美術史の展開の中で、大きな潮流となった京都の美術にスポットをあてました。

日本画は、本展の核となるもので、竹内栖鳳、菊池契月といった重鎮たちから、清楚な美人画で高い人気を誇る上村松園、また、大正時代に国画創作協会を創立し、日本画の新たな可能性を示した土田麦僊や村上華岳など、近代日本画史を彩る名だたる作家たちの作品を一堂に展示。中でも大分市出身の日本画家・福田平八郎の作品19点は、戦前期の福田の画業を支援した、臼杵市出身の実業家・首藤定氏旧蔵の「首藤コレクション」からなるもので、福田が様々な画風を模索しながら独自の表現様式を確立してゆく過程をご覧いただきました。

洋画では、近代洋画の先駆者、浅井忠をはじめ、昭和の洋画壇をリードした梅原龍三郎や安井曾太郎、京都画壇の重鎮、須田国太郎、パリの街角を哀愁の中に描き出した佐伯祐三らの作品を展示。個性あふれる作家たちの作品が会場を華やかに彩りました。

工芸は、近現代陶芸の先駆者、板谷波山、富本憲吉、北大路魯山人、河井寛次郎らの作品を紹介しました。

会期中は、多くのお客様にご来場いただき、古都の伝統と創意が育んだ「日本モダン」の精華をご堪能いただきました。

展覧会の関連イベントとしては、9月28日（金）に京都国立近代美術館館長の柳原正樹氏を講師に迎え、トークイベント「美術四方山話」を開催。近代日本画の歩みとともに作品鑑賞のポイントなどをわかりやすく解説していただきました。また、会期中には、担当学芸員によるギャラリー・トークを3回実施し、毎回多くの参加者が集いました。

## ●その他 関連プログラム

9月28日（金）13：30～15：00  
トークイベント「美術四方山話」  
講師：柳原 正樹（京都国立近代美術館館長）  
会場：大分県立美術館2階研修室 参加人数：約80人

ギャラリートーク  
9月28日（金）17：00～18：00  
10月13日（土）14：00～15：00  
10月20日（土）14：00～15：00

案内：担当学芸員  
場所：大分県立美術館3階コレクション展示室  
参加人数：毎回約20～30人

●主催者  
大分県芸術文化スポーツ振興財団特別企画実行委員会



## 7

## 障がい者アートの祭典

開催日：①平成30年9月29日(土)～10月8日(月・祝) ②平成30年11月9日(金)～18日(日) (②は全国障がい者作品展 県内応募作品展示のみ)

開催場所：大分県立美術館



## ●実施状況

「鑑賞」「参加」「体験」「考える」など、多角的な切り口で障がい者アートの魅力を発信する展覧会を開催しました。

大分県内の障がいのある方々が制作した感性あふれる作品や、全国からの公募作品、国際コンクール入選作品の展示に加え、直接触ることができる作品や聴覚障がいのある女子高生がヒロインの漫画『聲の形』の原画など多彩な作品を展示しました。

観覧者からは、「心に染み入るたくさんの作品を見ることができて良かった」、「想像以上に素晴らしい作品ばかりだった」等の感想をいただきました。

## ●展示内容

## 1 おおいたの障がい者アートの歩み

大分県内における障がい者アートの取組を作品や動画、パネルで紹介しました。

## (1) 「ときめき作品展」過去大賞作品 25点

「ときめき作品展」(平成8年～)は、大分県内の障がい児・者が制作した作品の展示会です。今回は、過去の作品展で来場者の投票で決定する「ときめき大賞」を受賞した作品を紹介しました。

## (2) おおいた大茶会障がい者アート発掘作品 25点

平成28～29年度に障がい者福祉施設や特別支援学校等を訪問調査して探し出した作品の中から選ばれた、様々なジャンルのアート作品を展示しました。

## (3) おおいた大茶会盛り上げ隊の障がい者アーティスト作品 5点

おおいた大茶会のPRなど「おおいた大茶会盛り上げ隊」として活動する2名の障がい者アーティストの作品やワークショップ等の様子を紹介しました。

## (4) 高山辰雄賞ジュニア美術展選抜作品 136点

「高山辰雄賞ジュニア美術展」(昭和58年～)は、県内の幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校から毎年約9万5千点の応募がある展覧会です。今回は、特別支援学校・学級が出品した作品の中から優れた作品を紹介しました。

## 2 全国障がい者作品展

全国の障がいのある方が制作した絵画、書道、彫刻、工芸、手芸、文芸(短歌/俳句/川柳)の魅力溢れる作品を展示しました。

(1) 県外応募作品展示 201点

(2) 県内応募作品展示 416点

## 3 ビッグ・アイアートプロジェクト2017入選作品展「共振×響心」 78点

国際障害者交流センター(ビッグ・アイ)が開催する国際コンクールで入選した国内外の作品を展示しました。

## 4 『聲の形』原画展 44点

主人公と聴覚障がいがあるヒロインの切ない青春を描いた大今良時のマンガ作品『聲の形』(『週刊少年マガジン』連載)の名場面の原画を展示しました。

併せて、手話やヘルプカードの紹介コーナーを設置しました。

## 5 五感で感じる美術館 29点

東京藝術大学が、形状、質感、色を忠実に複製する「クローン文化財」の技術により再現した世界的名作を展示しました。観覧者には、実際に直接触れたり、匂いを嗅いだり、視覚以外の感覚も使ってアートを楽しんでいただきました。

## ●主催者

厚生労働省 文化庁 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会

8

# 「海と宙の未来」展そら（芸術文化ゾーン連携事業）

開催日：平成30年10月2日(火)～11月25日(日)

開催場所：大分県立美術館



## ●実施状況

大分県立美術館を会場に、JAXA（宇宙航空研究開発機構）とJAMSTEC（海洋研究開発機構）の全面的な協力を得て、「未知への挑戦～夢を追う人々～」というテーマのもと宇宙と深海を取り上げた展覧会を開催、小惑星探査や深海調査など最新の科学技術とその成果を紹介しました。

1階アトリウムでは、国産ロケットの大型模型や日本初の純国産大型ロケット「H-IIロケット」のメインエンジン「LE-7」、有人深海調査船「しんかい6500」の2分の1大型模型や、その支援母船「よこすか」、地球深部調査船「ちきゅう」などさまざまな海洋調査船の模型などを展示したほか、顔出し宇宙服、3Dトリックアート、オレンジスーツ試着体験など、来場者が写真撮影を楽しめるコーナーも設置しました。

3階コレクション展示室では、「生活圏の拡大 深海（うみ）へ宇宙（そら）へ」「生命の起源 深海（うみ）か宇宙（そら）か」という2つのテーマで展示を構成しました。

宇宙開発については、宇宙ステーションや宇宙飛行士、小惑星「リュウグウ」でミッション継続中の小惑星探査機「はやぶさ2」などを取り上げましたが、「はやぶさ2」に関しては、最新画像を上映し、随時更新するようにしました。深海については、「しんかい6500」の装備品などを展示し

たほか、厳しい環境の中で独自の進化をとげた深海生物など、深海調査によって撮影された貴重な映像を上映しました。

期間中は、35,000人以上が会場に訪れ（3階会場）、普段触れる機会の少ない最新の科学技術に親しんでいました。

## ●その他関連イベント

- ・油井亀美也宇宙飛行士講演会～未知への挑戦  
日時 10月16日(火) 13:00-15:00  
会場 iichiko グランシアタ  
参加者 1,990人
- ・JAMSTEC 研究員 高井 研氏講演会  
日時 10月11日(木) 13:30-15:30  
会場 ビーコンプラザフィルハーモニアホール  
参加者 898人
- ・有人潜水調査船しんかい6500、支援母船よこすか見学会  
日時 10月13日(土)・14日(日) 10:00-16:00  
会場 別府国際観光港第4埠頭  
参加者 6,504人

## ●主催者

大分県芸術文化スポーツ振興財団特別企画実行委員会

9

# MEGASTAR(スーパープラネタリウム)

## (芸術文化ゾーン連携事業)

開催日：平成30年10月2日(火)～11月25日(日)

開催場所：大分県立美術館



出会うの場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

### ●実施状況

大分県立美術館の展示室Bでは、有限会社大平技研が開発し、世界的にも評価の高いプラネタリウム「SUPER MEGASTAR II」を大分で初公開しました。「MEGASTAR」シリーズの中でも最多となる展示室内に映し出された2,200万個もの恒星は、肉眼では見分けることのできない微細な星までが忠実に再現されており、まるで本物と見間違えるかのような荘厳な星空に包まれました。さらに宇宙シミュレーションソフトで作成された圧倒的な映像クオリティにより、138億光年離れた宇宙の果てまでの宇宙旅行を体感していただき、宇宙の大きさと人間のちっぽけさ、その存在意義などを考えるきっかけになったのではないかと思います。

本展示は同時期に美術館で開催された「海と宙の未来展」の会場と隣接して実施しており、宇宙についての知識を得た上で星空を見たり、逆に星空を見たあとに改めて宇宙について学んだり、上手く連携できる体制をつくることでお客様にも満足頂けたようでした。

入場料は一般500円、大学生・高校生400円、中学生以下を無料とし、低廉な価格設定とすることで、家族揃って来館される様子を多く見ること

が出来ました。

1回の上映時間は約20分で毎時10分と40分に開始。1日17回(金・土曜は19回)の上映を行いました。会場規模などから1回の定員を50名として運営しましたが、土曜、日曜を中心に満席になることも多く、最終的には33,118名と予想を大きく上回る入場者数となりました。お客様からは「満天の星空がきれいでこころが癒やされた」「プラネタリウムを常設して欲しい」などのご意見をいただき、感心の高さが示されました。

入場者が1万人、2万人、3万人を突破した際には記念セレモニーを行い、報道各社の取材などを通じて、「国民文化祭・おおいた2018」及び「全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」のPR活動も行うことが出来ました。

また、会期中には、教育委員会との連携により、高校生特別観覧・学校団体観覧を実施し、67校、9,441人の児童・生徒が観覧するなど、「海と宙の未来展」と合わせて、教育効果の高い催しができたものと考えています。

### ●主催者

大分県芸術文化スポーツ振興財団特別企画実行委員会

10

# おおいた美術散歩 OPAM & 豊の国

## (芸術文化ゾーン連携事業)

開催日：平成30年10月2日(火)～11月25日(日)

開催場所：大分県立美術館



### ●実施状況

本展覧会は「第33回国文化祭・おおいた2018」、「第18回全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」が県内を五つのブロックに分け、それぞれテーマを設定して事業展開するのに合わせて、各ブロックの市町村や文化施設等の協力を得ながら、各地域の特色ある美術資料を紹介し、「おおいたの美術」の多様さと層の厚さをひろく県内外に発信することを主旨として開催されました。

また、本展覧会終了後、大分県立歴史博物館（宇佐市、会期：11月30日～平成31年1月3日）、臼杵市歴史資料館（会期：1月9日～2月4日）、中津市立小幡記念図書館（会期：2月13日～2月18日）でも開催することにより、より多くの県民が「おおいたの美術」に親しむ機会を提供しました。

出品点数は42点。各ブロックの代表的作家の代表作、及び特色のある美術資料を精選して紹介し、10月29日に10点展示替を行いました。

第1ブロック（「出会いの場」＝大分市・別府市・由布市）の福田平八郎と高山辰雄の日本画、生野祥雲齋の竹工芸、第2ブロック（「祈りの谷」＝豊後高田市・杵築市・宇佐市・国東市・姫島村・日出町）の仏教美術や河合誓徳の陶芸、第3ブロック（「豊かな浦」＝佐伯市・臼杵市・津久見市）の青貝漆器や南蛮漆器、日名子実三の彫刻、第4ブロック（「耕す里」＝竹田市・豊後大野市）の田能

村竹田の南画と朝倉文夫の彫刻、第5ブロック（「水の森」＝中津市・日田市・九重町・玖珠町）の宇治山哲平や糸園和三郎の洋画、小鹿田焼、漆器等の多彩な美術資料を紹介しました。

約2ヶ月間の会期中に、多数の幼稚園児、小中高校生を含む約13,600人が観覧し、大分県が誇る古代から現代までの多様な美の宝・美の力と出会う貴重な機会を提供できました。

### ●その他 関連プログラム

ギャラリートーク

日時：10月14日(日) 14:00～15:00  
 10月26日(金) 16:00～17:00  
 10月28日(日) 14:00～15:00  
 11月11日(日) 14:00～15:00  
 11月25日(日) 14:00～15:00

場所：大分県立美術館 3階 展示室B

案内：担当学芸員

参加人数：各回5～15人

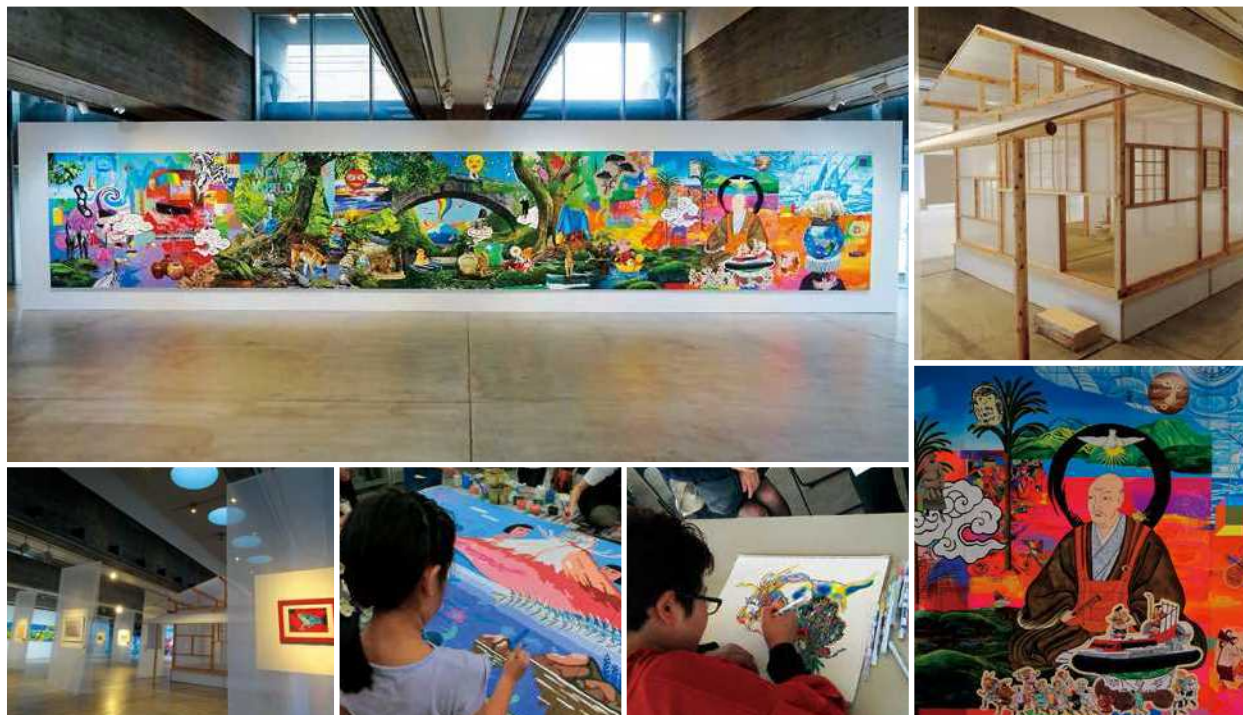
### ●主催者

地域連携展「おおいた美術散歩」実行委員会 公益財団法人  
 大分県芸術文化スポーツ振興財団・大分県立美術館 大分県  
 立歴史博物館 臼杵市歴史資料館 中津市木村記念美術館

# アートプラザ開館20周年記念 アートプラザフェスタ2018

開催日：第一部 平成30年10月6日(土)～21日(日) 第二部 10月27日(土)～11月11日(日)

開催場所：アートプラザ



## ●実施状況

「第13回国民文化祭・おおいた98」が開催された平成10年にオープンした「アートプラザ」の開館20周年を記念して、大分にゆかりのある若手作家を紹介する展覧会を二部構成で開催しました。

第一部は、大分市出身の背景絵師宮崎勇次郎氏による初の大規模個展として、新作「大大分図」(だいいおいたず)をメインに、宮崎氏の実家である「下郡温泉」の浴場の背景画や、平成17年に若手公募展で大賞を受賞した「エンドレスパラダイス」など、過去に制作した作品を含む約100点を展示しました。「大大分図」は、1.9m×12mのキャンバスに作家自身の大分に関する様々な記憶を描いたもので、その鮮やかな色彩とモチーフの組合せで見ると人の心をつかみました。また、宮崎氏が講師となり、銭湯画を描くワークショップを開催し、完成した作品を会場で展示した後に大分市内の「あたま温泉」に設置しました。

第二部は、コラボレーション企画として、「アートの庭」を実施しました。第一部で展示した宮崎氏の作品を背景として、それぞれに障がいがありながらも夢を持って創作活動をしている15名のアーティスト集団「元気のでるアート!」と陶芸作家坂本和歌子氏による作品を展示するとともに、

建築家松田周作氏が茶室「待庵」を原寸スケールで再現・設置し、会場を構成しました。来場者には、作品の鑑賞や茶室の空間を楽しんでいただいた後、会場に設置した投函箱に感想などを俳句にして自由に投函してもらい、空間のコラボレーションに参加していただきました。また、「元気のでるアート!」の作家、甲斐瞳氏、安部侑朔氏による公開制作のほか、松田氏のガイドで展覧会場とアートプラザ近隣のアトスポットをめぐるツアーを実施しました。

本事業を通し、大分にゆかりのある若手作家・作品の魅力とともに大分の魅力を発信し、多くの人に知っていただく、良い機会となりました。

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 大分市 大分市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭大分市実行委員会 アートプラザフェスタ2018実行委員会

12

# おおいた府内 歴史絵巻800年

開催日：平成30年10月6日(土)～11月25日(日)

開催場所：大友氏館跡、南蛮BVNGO交流館、大分市歴史資料館、コンパルホール、府内城ほか



## ●実施状況

「おおいた府内 歴史絵巻800年」と題し、豊後府内（現大分市中心部）における鎌倉時代の友友氏入封から戦国時代の友友宗麟による繁栄と南蛮文化の開花、さらに現代にいたるまでの歴史を広く知ってもらうため、各会場で一連のイベントを実施しました。

コンパルホールでは、東京大学史料編纂所教授の本郷和人氏、マンガ「センゴク権兵衛」作者の宮下英樹氏、歴史アイドルの小日向えり氏を招聘し、「戦国大名フォーラム in 豊後府内『センゴク大名百花繚乱』」と題してフォーラムを行いました。

また、大分市歴史資料館では、日本城郭協会の協力のもと、第37回特別展「日本100名城 大分府内城」を開催するとともに、広島大学総合博物館の佐藤大規氏を招聘し、記念講演会を実施しました。このほか、大友氏遺跡を活用したイベントやまちあるき、大友氏遺跡・府内城の現地説明会、9月30日にオープンした南蛮BVNGO交流館を活用した茶会やミニコンサートなどを実施しました。

いずれの会場にも大変多くの方々にお越しいただき、本市を代表する歴史・文化財である中世の大友氏や大友氏遺跡および近世府内城をPRすることができました。

## ●プログラム

10月6日(土)～11月25日(日)

大友氏館跡発掘調査あゆみ展「ここまでわかった!! 大友氏館跡発掘20年」

府内城・城下町跡発掘調査速報展示

大分市歴史資料館第37回特別展「日本100名城 大分府内城」

10月13日(土)～14日(日)

大友氏遺跡フェスタ2018「学びのブース」

10月20日(土)

南蛮BVNGO交流館開館記念茶会

戦国大名フォーラム in 豊後府内「センゴク大名百花繚乱」

10月27日(土)

大友氏遺跡フェスタ2018

府内城宗門櫓保存修理工事現場見学会

11月3日(土・祝)

大友氏遺跡現地説明会

どこでもコンサート in 南蛮BVNGO交流館

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 大分市 大分市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭大分市実行委員会

13

# 神に捧げる書と華と豊後茶会

— おおいた文化の祭典 —

開催日：平成30年10月6日(土)～15日(月)

開催場所：春日神社



出  
会  
い  
の  
場

祈  
り  
の  
谷

豊  
か  
な  
浦

耕  
す  
里

水  
の  
森

## ●実施状況

大分の新女流書展は、第7回展を国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭「おおいた文化の祭典」事業として開催しました。文化祭のゾーン分けで、大分市は「出会いの場」となっているため、今回は日頃展示会を開催する美術館を飛び出し、「大楠の樹と杜」がある春日神社を会場に選びました。会場が神社ということもあり、「神に捧げる書と華と豊後茶会」をタイトルに掲げました。

タイトルにある「華」は、大分のま竹100本と季節の花を生けてオブジェをつくり、メイン会場はもちろんのこと儀式殿や屋外の参道まで全体を華で彩りました。「茶」は、表千家の皆さんが三畳の茶席を設けて来場者をおもてなしく下さいました。そして、「書」として会記や短冊を展示し、「書と華と茶」の三者が見事に融合した会場となりました。

来場者から「会場の広さ、お茶とお花、作品点数などが鑑賞するのに丁度良く、ゆっくりと作品と心を通わせる事ができました」という感想をいただきました。花のオブジェに導かれながらお茶席へ、お点前を頂く至福の時間が終わると再び作品鑑賞や絵馬のワークショップへの参加など、一人のお客様が会場で過ごす時間が美術館での開催

時よりも長くなっていました。

ワークショップでは、小学生から大人まで、制服姿の高校生や外国の方も多く参加していただき、個性豊かで素晴らしい849枚の絵馬が出来上がりました。入場者は、会期中が天候に恵まれたこともあり、4,000人を数え大盛況でした。

心は見えないが、心遣いは見える。思いは見えないが、思いやりは見える。

会員一同、誠心誠意、感謝の気持ちでおもてなしをした10日間でした。会場の広さや展示方法などについて、今回は色々とチャレンジした展示会となりましたが、今回の試みを今後の活動に生かしていきたいと思います。

## ●プログラム

10月6日(土)～15日(月)

- ・書の展示 展示数100点
- ・フラワーアレンジメントによる会場装花
- ・呈茶(表千家)
- ・ワークショップ 絵馬の制作

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 大分の新女流書展

14

## 障がい者芸術・スポーツ写真展

開催日：①平成30年10月6日(土)～14日(日) ②平成30年11月1日(木)～5日(月)

開催場所：①別府駅、中津駅、日田駅、佐伯駅、豊後竹田駅、杵築駅 ②iichiko総合文化センター



## ●実施状況

障がいのある方々の創作活動やスポーツに取り組む様子を多くの方々を知っていただくため、県内各地の主要駅とときめき作品展会場で写真展を開催しました。

大分県美術協会写真部会の協力のもと、大分県内の特別支援学校を訪問し、生徒が創作活動やスポーツに取り組む様子を写真撮影し、展示したほか、文化祭の期間中に開催された「第38回大分国際車いすマラソン大会」をはじめ、車いすバスケットボールやボッチャなど様々な障がい者スポーツを紹介する写真を同時に展示しました。

会場では、児童・生徒がひたむきに創作活動やスポーツに取り組む様子を写した写真や創作活動への思いを記した説明パネルに、多くの方が足を止め熱心に鑑賞していました。

来場者からは、「作品はこれまで見たことがあったが、普段見ることのない、障がいのある方々の創作の様子を見て、作品の見方が変わった」、「障がい者スポーツがこんなにたくさんあることを知らなかった」などの声をいただきました。

この写真展では、障がいのある方々が創作活動やスポーツなど様々な活動を楽しむ様子を多くの方々に見ていただき、障がい者に対する理解促進

につながる良い機会となりました。

## ●参加校（50音順）

大分支援学校、新生支援学校、竹田支援学校、日田支援学校、別府支援学校、由布支援学校、聾学校

## ●主催者

厚生労働省 文化庁 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会

出  
会  
い  
の  
場祈  
り  
の  
谷豊  
か  
な  
浦耕  
す  
里水  
の  
森



15

## まちなかアート！

開催日：平成30年10月6日(土)～11月25日(日)

開催場所：大分市中心部商店街、大分県内の旅館・ホテル、大分空港、別府・大分フェリーターミナル



## ●実施状況

文化祭期間中に県内外からお客様をお迎えする大分市内中心部商店街の店舗や県内各地の旅館・ホテル、空港やフェリーターミナル等に、障がいのアート作品を展示し、作品の魅力を広く知っていただくとともに、障がいのある方々の新たな作品展示の機会を創出し、今後の創作意欲向上やアートを通じた社会参加の促進を図ることを目的に実施しました。

平成28～29年度に県内の障がい者福祉施設や特別支援学校等27カ所を訪問調査し、これまで発表する機会の少なかった作品の中から探し出した感性あふれる51作品と、県内で活躍する障がい者アーティストの作品で街を彩りました。

障がいのアート作品を初めて目にする方が多く、「素晴らしい作品で感動した」との感想をいただいたり、中には長時間作品を眺め、写真を撮影して帰る方もいらっしゃいました。

また、商店街や旅館・ホテルの方々には、作品展示を通じて全国障害者芸術・文化祭のPRや魅力発信にご協力いただくなど、民間事業者の方々と連携して文化祭を盛り上げることができました。

協力いただいた店舗等からは、「今後も定期的に作品展示を行いたい」、「気に入った作品なので

購入したい」等の声をいただき、障がい者アートの魅力を幅広く伝えることができました。

## ●展示場所

- 大分市中心部商店街 35カ所  
竹町通商店街、中央町商店街、府内五番街、サンサン通り商店街、ポルトソール商店街
- 大分県内旅館・ホテル 17カ所
- 大分空港、フェリーターミナル（大分港、別府国際観光港）3カ所

## ●主催者

厚生労働省 文化庁 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会

16

## 豊後 FUNAI ミュージカル

そうりん  
宗麟の海

開催日：平成30年10月7日(日)、8日(月・祝)

開催場所：J:COM ホルトホール大分



## ●実施状況

直木賞作家・安部龍太郎氏の小説「宗麟の海」を原作とした歴史ミュージカルを、公募で集まった大分市民を中心とした市民ミュージカル劇団で公演しました。

この作品は、大分が誇る戦国武将「大友宗麟」が、初めて西洋と出会いキリスト教という未知の宗教に魅せられ葛藤する姿から、彼と出逢う3人の女性との関係、家臣たちとの協力や裏切り、弟八郎との別れなど、宗麟の半生をドラマチックに描いたものです。

出演者60名が、当時の府内（大分市中心部）の人々を生き活きと演じました。

舞台では、大分県指定無形民俗文化財である「津久見扇子踊り」や大分県民謡の「別府ばやし」といった大分県の伝統芸能を取り入れ、和楽器（尺八・津軽三味線・太鼓・箏・十七絃）の生演奏と共に出演者が踊ることにより、当時の雰囲気と臨場感を演出するなど、ミュージカルと伝統芸能の融合を図り、異なる分野の芸術文化が出会う機会を創出しました。

また、大ホール3階ホワイエから直接出入りのできる駅南屋上公園で、大友宗麟の時代背景や大分の歴史等のパネル展を同時開催し、公演中に使

える「宗麟お札」を配布しました。劇中、お客様自身に「府内の一員」となって「宗麟お札」を寄付していただくシーンがあり、出演者が募金箱を持って客席を回る演出で、舞台と客席が一体となる空間を作り出すことができました。

2日目の10月8日には、安部氏のサイン会が開催され、多くの原作ファンで賑わいました。

来場者数は2日間で1,548名となり、安部氏からは「長編だった原作を上手に纏め、終始飽きることなく観ることができる作品に仕上げてください、感謝」とのご感想をいただきました。

今回のミュージカルは、小さなお子様にも楽しんで見てもらうことができましたと思います。また改めて大友宗麟へ興味をもち、郷土への愛着を感じていただく機会にもなりました。

## ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 大分市 大分市教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭大分市実行委員会 J:COM ホルトホール大分

17

## わくわく♪つながる♪音楽祭

開催日：平成30年10月8日(月・祝)

開催場所：iichiko総合文化センター



出会いの場

祈りの谷

豊かな浦

耕す里

水の森

## ●実施状況

障がいのある方に、みんなで音楽を作り上げる楽しさや喜びを感じてもらおうとともに、障がいのある方とない方の交流を通じて、障がいに対する理解を促進することを目的として、「わくわく♪つながる♪音楽祭」を開催しました。

この音楽祭では、「あいネットワーク大分 第10回音楽会」と「音楽とふれあうマルシェ～大分の地から～」の2つのイベントを実施し、会場は華やかな音楽で彩られました。

## ●プログラム

- 1 あいネットワーク大分 第10回音楽会  
10月8日(月・祝) 13:30～16:00 iichikoグランシアタ
  - (1) 津久見樫の実青少年少女合唱団  
今年で結成39年を迎える津久見樫の実青少年少女合唱団の幼児から大学生まで総勢53名が、童謡やアニメソング等の美しいハーモニーを披露しました。
  - (2) 大分県公募参加者による合唱  
公募により集まった99名の参加者が、3回の全体練習と個別練習の成果を存分に発揮し、ボディーパーカッションや手話、手作り楽器を取り入れた合唱を披露しました。
  - (3) 特別支援学校による合唱  
ビデオ出演を含め、県内全ての特別支援学校(17校)から114名が参加し、自分らしい表現で息の合った演奏を披露しました。
  - (4) 和波孝禧氏～大分県立芸術文化短期大学ストリングアンサンブル&小林道夫氏との共演～

バイオリニスト和波孝禧氏とチェンバロ奏者小林道夫氏、大分県立芸術文化短期大学学生等との合同演奏により、美しい弦楽アンサンブルを披露しました。

## (5) フィナーレ

公募出演者、ゲスト、来場者が一体となって「365日の紙飛行機」を歌いました。

## 2 音楽とふれあうマルシェ～大分の地から～

10月8日(月・祝) 10:30～15:00 iichikoアトリウムプラザ

## (1) ミニステージ演奏

公募により参加した6団体が、楽器演奏や独唱等を披露しました。

- ① アンサンブル太陽(吹奏楽)
- ② オンたの(トーンチャイム)
- ③ ネジとごん(アコースティックユニット)
- ④ 居場所～特性を生かす道(独唱)
- ⑤ SAMSY(歌・ピアノ・ギターによる演奏)
- ⑥ 建GO(弾き語り)

## (2) マルシェ(障がい者福祉施設製品販売会)

県内の障がい者福祉施設11施設がステージを囲み、来場者にパンや焼き菓子、果物、手芸品等を販売しました。

## (3) 障がい者スポーツ体験

障がい者スポーツ関係者を招き、東京2020パラリンピック競技大会の種目となっている陸上競技(車いすマラソン)及び車いすテニスの体験を実施しました。

## ●主催者

NPO法人あいネットワーク大分 厚生労働省 文化庁 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会

18

# OITA DESIGN POWER 2018-Design Cafe 4-

## ーおおいた文化の祭典ー

開催日：平成30年10月10日(水)～14日(日)

開催場所：大分県立美術館



### ●実施状況

大分県デザイン協会は、デザインの価値を高め、クリエイターの社会的地位向上の一助となること、大分の活性化のため、より良いデザインの土壌が築かれることを目的として各種取組を行っています。中でも4回目となるこのOITA DESIGN POWER 2018 - Design Cafe 4 - は、一般の方に対しては「デザインの理解を深める普及活動」、クリエイターに対しては「技術と知識の向上」、デザインを学ぶ学生や若い世代に対しては「デザインに触れ、クリエイターと交流する機会の創出」をそれぞれ期待し、2年に一度開催している大会です。

今回の Design Cafe 4 は、国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭「おおいた文化の祭典」事業として、過去最大級、県内外の55組のクリエイターの作品が一同に集い、ボリュームたっぷりのデザイン展示会、デザインの要素を取り入れたワークショップ、第一線で活躍するクリエイターのセミナーなどを開催しました。併せて、新聞社と共催した新聞広告デザインアワードも会場内の一角で行いました。期間中は、当初予想を上回る約2,500人の方々が来場するなど、大いに盛り上がった大会となりました。

### ●プログラム

- 発表の場となる作品展示（10月10日～14日）
  - ・県内クリエイター約45組、県外ゲストクリエイター10組による作品展示及び学生作品展示
- デザインの要素を取り入れたワークショップ
  - ・10月13日(土) 13:00～15:00 「RAW現像と正しい画像データの作り方」 講師：山本 巖
  - ・10月14日(日) 10:00～12:00/13:00～15:00 「カンタン動画入門教室」 講師：福本 航
  - ・10月14日(日) 10:00～12:00 「自分だけのオリジナルLINEスタンプ作成ワークショップ」 講師：今長 学
  - ・10月14日(日) 13:00～15:00 「ねんどワークショップ」 講師：渡邊 和己
  - ・10月14日(日) 15:00～17:00 「らくがきワークショップ」 講師：あさひな。
- 著名な講師による講演会
  - ・10月13日(土) 15:00～16:30 『白本由佳講演会 デザインと生活』 講師：白本 由佳

### ●主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会 大分県デザイン協会 大分合同新聞社 JAGDA大分地区